

取扱説明書

■食液用加圧タンク

FOT-100

FOT-200

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項及び取扱方法について記載しています。
ご使用前に必ずお読みになり、十分に理解してからご使用ください。
また、本書はすぐに確認出来る場所に大切に保管してください。

■ 重要なお知らせ

この取扱説明書で扱われている製品は食液供給専用商品(日本国内仕様)です。他の用途には使用しないでください。操作や機能を正しくご理解いただくため、この取扱説明書を必ずお読みになり、重要な警告、注意事項および取扱方法について、十分に理解された方が使用してください。

正しい方法にてご使用いただけない場合、死亡や重大な身体上の障害、火災や爆発が起こる可能性がありますので十分ご注意願います。



● 安全性について

- ・ 本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、それぞれの企業や事業所で規則・規定として守るべき事項に従ってください。
- ・ 本文中に次の警告・注意・衛生マークで示している箇所は、安全にお使い頂くため、特に重要です。
- ・ 絵表示、記号の意味は次のようになっています。

注意喚起の表示

 警告	警告内容を怠った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物理的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
 衛生	この記号は注意内容を怠った場合、衛生上のトラブルから、社会的な企業責任の追及と信用の損失、甚大な損害倍諸、入院患者の発生、生産品のリコール、または消費者からの苦情を招く可能性があります。

本製品は食液専用の供給機器で、接液部に食品衛生法に準拠した材質を使用し、汚染しにくい構造にしているのが特長です。常に清浄な状態でご使用ください。

ステンレス材を多用していますが、錆びない事を保障する訳ではありません。また抗菌作用はありません。

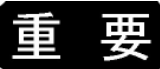
使用後のメンテナンスや除菌作業等はお客様にて実施ください。

絵表示の例

	この記号は『注意すべきこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を示します。(左の例は換気に注意)
	この記号は『してはいけないこと』を意味しています。 記号の中や近くに、具体的な禁止内容を示します。(左の例は接触禁止)
	この記号は『しなければならないこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な指示内容を示します。 (左の例は保護マスクを着用せよ)

- ・ 警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害、損傷については、当社では責任を負いかねますので、ご了承ください。

● 補足表示について

 重要	この記号は機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくため、守っていただきたい内容を示しています。
 ワンポイント	この記号は使用にあたって役立つ知識、アドバイスなどを示しています。

● この商品の保証について

巻末に保証とサービスについての説明があります。よくお読みください。

重要なお知らせ

1. 安全性について	2
2. 現品確認	4
3. 仕様	4
4. 各部の名称及び機能	5
5. 設置・取付	6
6. 取扱	7
7. 保守点検	11
8. 故障と対策	12
9. 構成部品	13
10. 保証と修理サービス	14

警告

保護具の着用

- ・作業中は、眼鏡、マスク及び手袋などの保護具を必ず着用してください。
液材が目に入ったり、吸い込んだりする危険性があります。
異常を感じたら直ちに医師の治療を受けてください。



換気に注意

- ・換気の良い場所で使用してください。
換気の不十分な狭い場所で使用すると、液材からの飛散したミストを吸い込み、健康に障害を及ぼす可能性があります。
作業中、身体に異常を感じたら、直ちに医師による治療を受けてください。
- ・アルコール等の揮発性液材を扱う場合は、引火し、火災や爆発を引き起こす可能性があり、非常に危険です。



装置の誤用による危険

- ・食液の圧送以外の用途に絶対使用しないでください。
本製品は食液専用の供給装置です。食液以外の液体を使用しないでください。食液以外の液体(例えば塗料・接着剤等)を本製品に使用した場合は、十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。また経口から人体に影響を及ぼす可能性があります。
- ・人や動物に向けてスプレーしたり、スプレーガンの空気キャップ先端に身体を当てて、スプレーしないでください。
目や口及び皮膚などから直接体内に液材が入った場合、非常に危険です。
- ・ホースの接続は確実にこなってください。人体が損害を負う及び、物理的損害が生じる可能性があります。タンクの空気入り口と液出口の六角ソケット部の締め過ぎにご注意ください。破損の可能性があります。



火気禁止

- ・引火点が低く着火しやすい液体は使用しないでください。火気の近くや火気のある場所で絶対に使用しないでください。ストーブ、ランプ及びヒーターなどの熱源のそばで使用しないでください。
パッキン変形によるエアリークの可能性があります。



アースの接続

- ・本商品、スプレーガン、はアース接続を行なってください。
当社指定のアース線入りウレタンエアース(HAHU形)の使用、または単独でアースの接続を行なってください。
アースが不十分ですと、静電気のスパークによる爆発や火災の危険性があります。



ホースの破裂に注意

- ・ホースを傷つけないため、半径50mm以下に曲げたり、重いものを載せないでください。
ホースが破損し、非常に危険です。
- ・ホースは、漏れや緩みのないように、確実に接続してください。
作業中にホースが外れた場合、液材の飛び跳ね、ホースの暴れによるけがなど重大な傷害をおよぼす可能性があります。
- ・下記のようなホースは絶対に使用しないでください。作業中にホースが破損する恐れがあり、非常に危険です。
 - ・穴が開いている
 - ・傷が付いている
 - ・折れ曲がっている
 - ・つぶれて変形している



警告

破裂に注意

- ・供給エア—圧力はかならず最高使用圧力以下(0.5MPa以下)に設定してください。
最高使用圧力以上で作動させると、破損や、液材の噴出、部品の飛散により人体に損傷を与えたり、物理的障害を招く可能性があります。
異常発生時に排気弁が働かず、破損による重大な身体上の危険性があります。
- ・タンク内の点検・清掃時には、供給空気を停止し、必ずタンク内の加圧空気を必ず抜気してから行なってください。
液材の噴出や部品の飛散による重大な身体上の危険の可能性があります。
点検・整備を行う場合は、タンク内の圧縮空気を必ず放出し、抜気音が完全に無くなり、タンクの圧力計で圧力が0MPaであることを確認してから行なってください。
圧力が残っている状態で点検、整備を行うと、分解している部品が飛散してケガをする恐れがあります。



転倒に注意

- ・加圧中はタンクを倒したり、上部に物を置いたり移動させたりしないでください。
タンク本体の変形や、食液経路の汚染の可能性があります。

排気弁の上に物を置かないでください。

- ・排気弁は何らかの状況でタンク内圧力が上昇した場合に、安全弁として働きます。
この動作は上部から阻害すると安全弁として正常に動作せず、破裂の危険性があります。

重 要

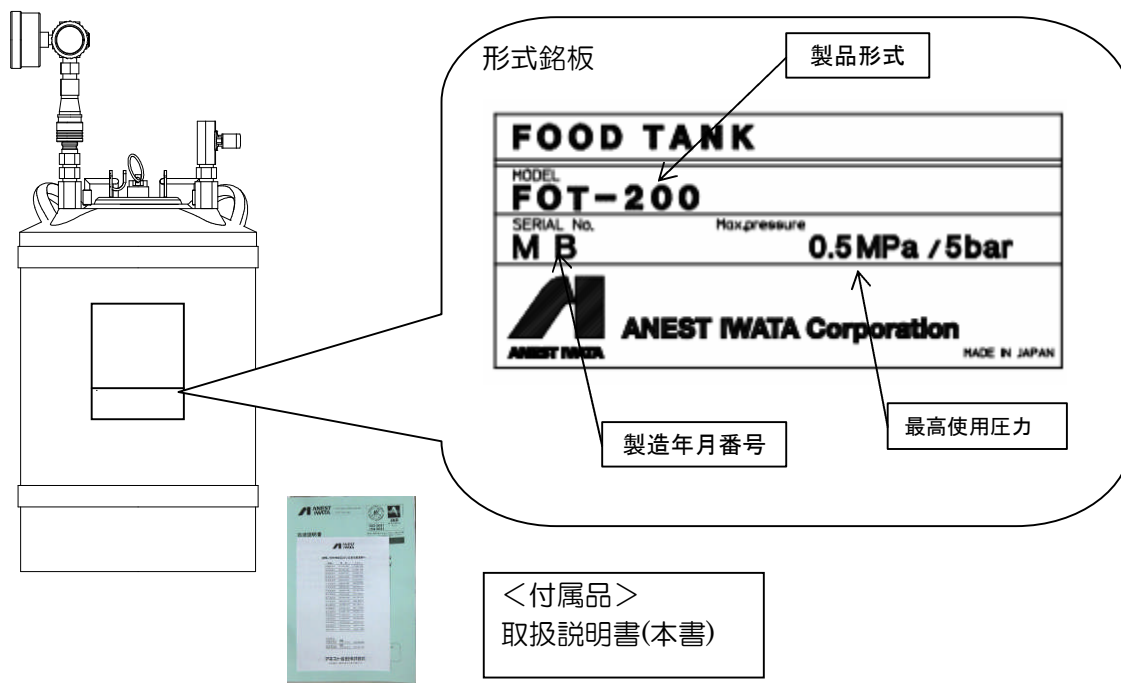
- ・タンクの改造は、絶対に行わないでください。
- ・タンクの整備にかかわる交換部品は、当社純正部品を必ず使用してください。
十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
- ・金属ブラシの使用はご遠慮願います。部品を傷つけて機能の低下を招く恐れがあります。柔らかいブラシをご使用ください。
本体の形式/注意表示はレーザーマーキングです。この部分を長期的に強く擦ると、表示が薄れる可能性があります。必要以上に擦らないでください。
- ・異常が発生した場合、異常が改善されるまで本製品の再使用を禁止してください。

衛 生

- ・本製品はスチーム洗浄に対応しておりません(■3. 仕様の 使用温度参照)
- ・本製品の材質と問題のない除菌液や洗浄液をご使用ください。
これらのメンテナンスはお客様責任で行なってください。
- ・供給エア—は、オイルフリーコンプレッサをご使用のうえ、エア—フィルターと除菌フィルターを通して濾過された清浄なエア—をご使用ください。
汚染されたエア—が通ると、健康障害を招く可能性があります。
- ・購入後初めてご使用の場合は、液体通路内部の微細な付着物を取り除くため、人体に無害で液体に適合する洗浄液を用いて内部の洗浄を行なってください。
食品対応として形状や材質に配慮した設計をしていますが、輸送における異物の混入・空気中の細菌の混入等が考えられます。全ての接液部分を必ず使用前に洗浄・除菌をお願いします。
付着物が残っていると、液体が汚染され経口により健康障害の可能性があります。
- ・ステンレス材部分でも異物の付着状況により、もらい錆が発生する場合があります。
もらい錆部分を清浄なウエスや鉄分を含まないブラシ等でブラッシングする事を推奨します。
- ・定期的に除菌作業を行なってください。
容器上部のアーチ状ハンドル内側は一部洗浄しにくい構造になっています。定期的な除菌作業を行なってください。
本取扱説明書で記載されている“洗浄・除菌”等は全て本体と人体に影響の無い液体を指します。

■ 2.現品確認

- ・ご注文の製品かどうか確認してください。また、輸送中に変形や破損した箇所がないか、確認してください。
- ・欠品、輸送上の破損がある場合は、危険防止のため使用せず、購入先の販売店または最寄の当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。



■ 3.仕様

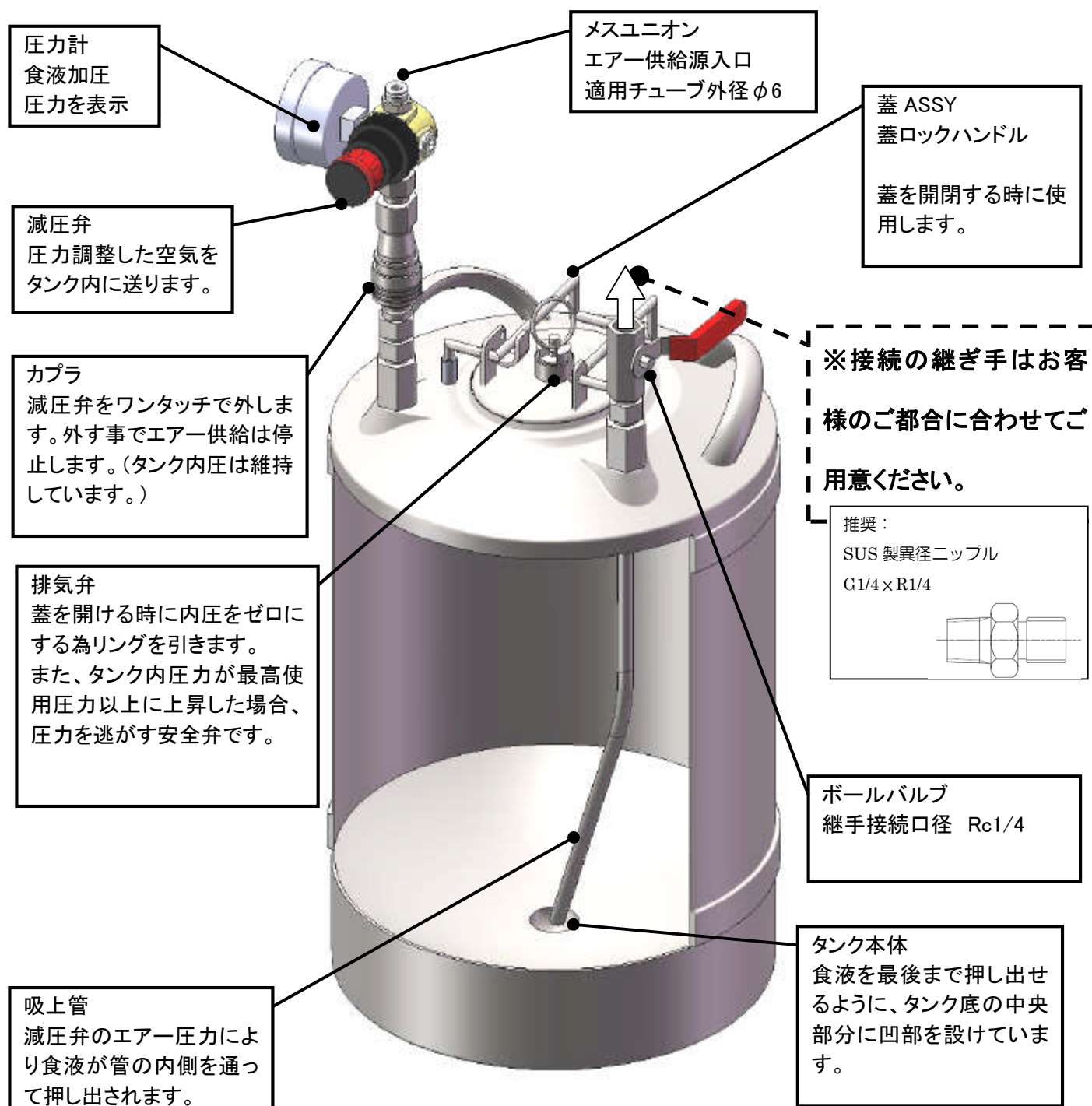
項 目		FOT-100	FOT-200
最大単純タンク容量 (ℓ)		(11.8)	(21.3)
実使用許容容量 (ℓ)		9.4	17.0
最高使用空気圧力 MPa		0.50	
空気取入口チューブ径 mm		φ6	
液材取出口		Rc1/4	
寸法・質量	全高 mm	540	777
	外径 mm	φ228	
	内径 mm	φ226	
	質量 kg	3.4	4.5
使用温度 °C		0～40	
使用粘度領域 mPa・s		0～3,000	

※ 本製品は『食液』専用としております。攪拌を必要とせず、グミ／ゲル状・大きな固形物を含まない低粘度液体を指します。不明な場合はご相談ください。

■ 4. 各部の名称及び機能

食液用加圧タンクは、減圧弁で調整した空気圧力でタンク内の液材を圧送します。

※『FOT-100/200』の各部と機能は共通です。



■ 5.設置・取付

重 要

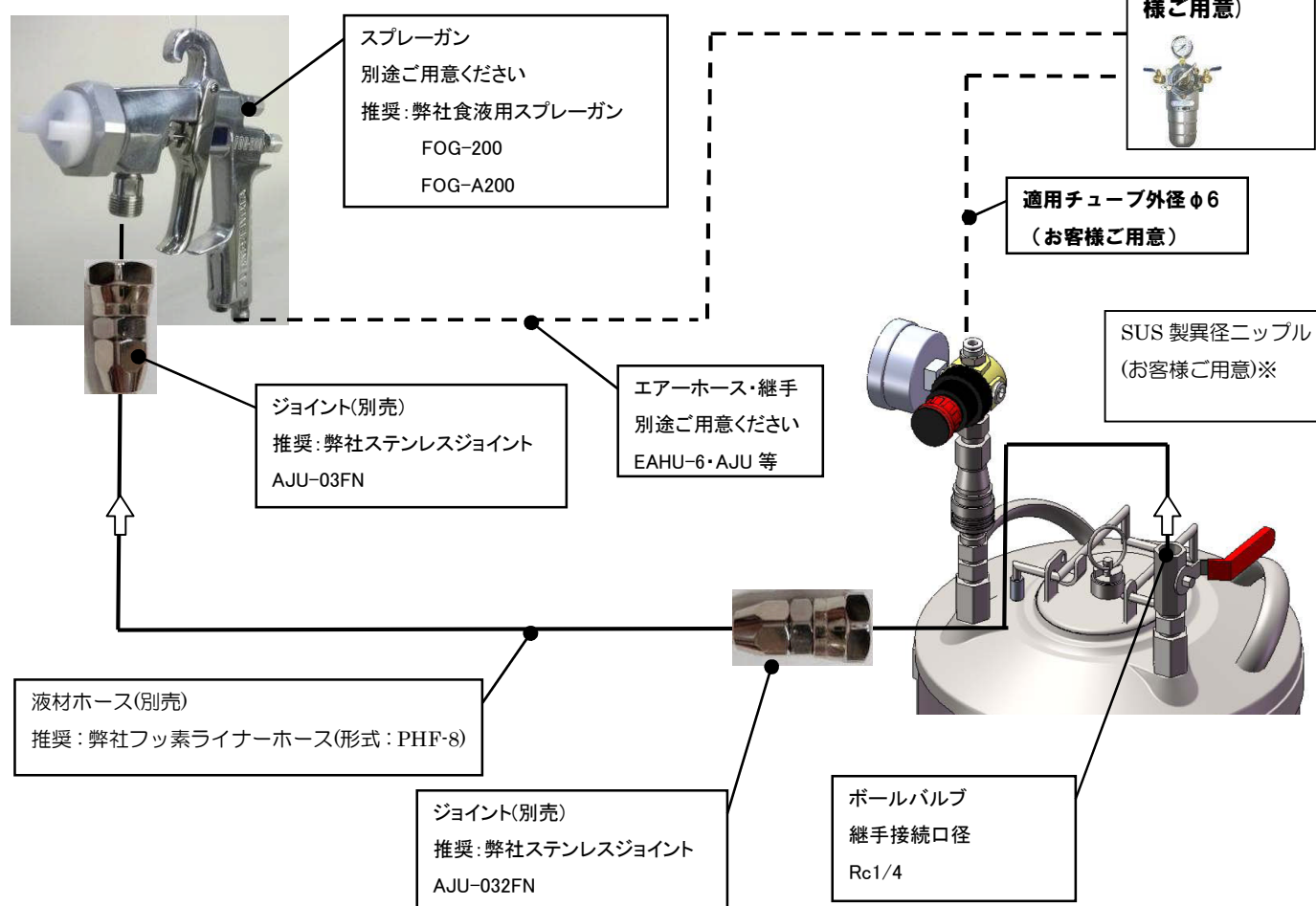
- ・不用意に移動したり倒したりすると部品や食液の飛散になる可能性があります。
- ・供給エアは0.5MPa以下を守ってください。

手順1

タンクは安全に作業できるよう水平な場所に設置してください。

手順2

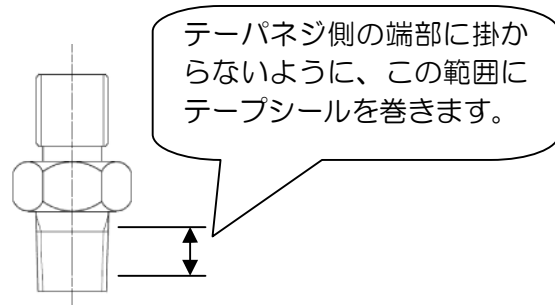
入口側エアースホース及び出口側、液材ホースはしっかりと接続してください。



※ ボールバルブ上部の継ぎ手に関して

- ①保護キャップを取り外します。
- ②推奨: SUS製異径ニップル G1/4 x R1/4

のテーパネジ部には食品衛生法に準拠したテープシールを巻いてご使用ください。(嫌気性接着剤は推奨致しません: 分解時に接着剤の塊が内部に混入する可能性がある為) テープシールを巻く場合は液路にテープが混入しないように、ねじの端部にテープが出ないように巻いてください。右図参照ください。



■6.取扱

6-1. 運転準備

スプレーガンや供給エアが正常に接続されている事を確認ください。

⚠ 注意



- ・タンク内部を点検する時は、タンク内の加圧空気を必ず抜気し、圧力が0MPaであることを確認してから行なってください。
- ・圧力による部品、内容物の飛散により重大な身体上の危険の可能性があります。

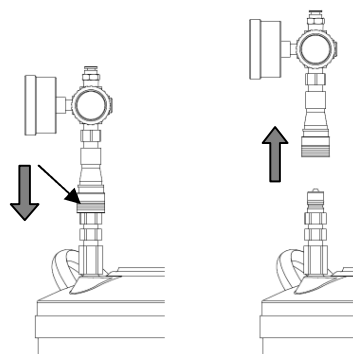
重 要

- ・タンク内の液材は、実使用許容容量を超える量の液材を入れないでください。
- ・静置状態でご使用ください。
液材を入れ過ぎますと、食液が蓋部やパッキンに付着し固着したり、排気弁の動作不良や減圧弁バルブゴム損傷や液材逆流等を引き起こす原因となります。使用許容容量は3項の仕様表（実使用許容容量）をご確認ください。

手順 1

エアが供給されていない事を確認します。

エア供給源を遮断し抜気するか、右図の様にカプラを外します。



手順 2

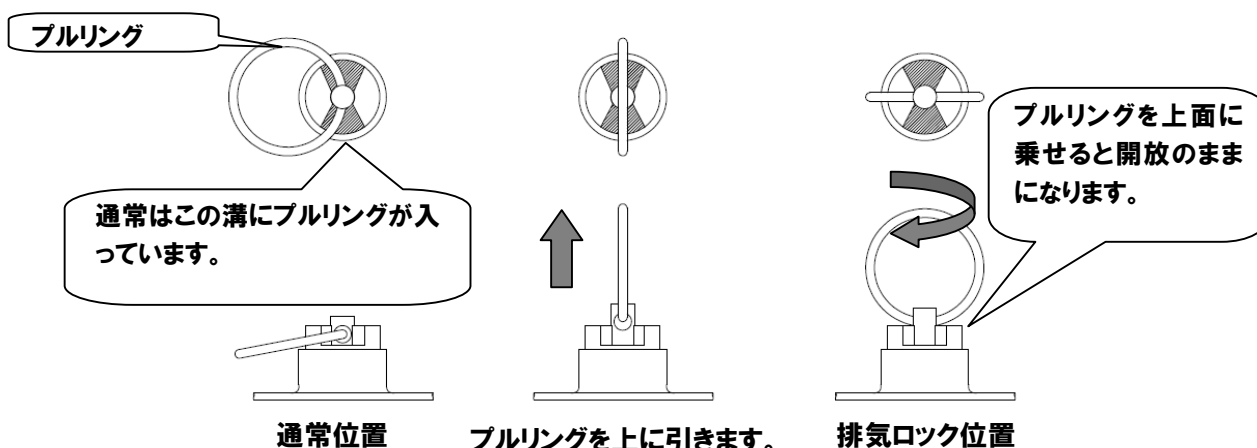
排気弁のプルリングを上方に引き、90° 回して排気ロック位置にし、タンク内の加圧空気を排気します。

排気音がなくなり、圧力計がゼロである事を確認します。

プルリングの引き過ぎに注意し、タンク本体が持ち上がらない程度に引っ張ってください。

繰り返し強い力で操作すると、安全弁のバネ力が弱まり、定格より低い圧力で安全弁動作します。

このような状態になった場合は経年劣化とお考え頂き、排気弁セットとして交換をお願い致します。



排気が終了したら、プルリングを90° 回し、通常位置にします。

手順 3



手順 3-1

蓋ロックハンドルを上に取り上げます。



手順 3-2

蓋 ASSY を容器の中に入れる感覚で下げます。
この時、内部の O リングが貼り付いている場合があります。無理やり蓋を下げようとすると O リングが破損する可能性があります。
洗浄液等で固着を緩めてから外します。



手順 3-3

蓋を容器の中で、約 90° 横に傾けます。
(容器の開口部の長手方向に、蓋の楕円の短径を合わせます。)



手順 3-4

この方向に蓋を持ち上げ、蓋を外します。

蓋ロックハンドルを持ち上げて内部を点検し、内部が清浄である事を確認します。本製品を一番最初に使用する場合は、除菌液または洗浄液(お客様でご用意ください)を用いて内部の洗浄を行なってください。

手順 4 洗浄が終了したら、タンク内部に液材を入れ、逆の手順で蓋をします。

6-2. 始動運転と調節

警告



- ・排気弁は組立時に安全弁として調整されておりますので、絶対に改造しないでください。
安全弁として機能しなくなり危険です。
- ・排気弁が汚損すると上記と同じ危険性を伴いますので管理には充分注意してください。
安全弁は、0.52～0.57MPaにて自動排気作動するよう調整されています。
- ・液材補給や蓋開閉の際は、エア源を遮断し加圧容器内の加圧空気を排気弁で抜き、
抜気音が無くなり、圧力計が0MPaであることを確認してから行なってください。
部品、液材が飛散し非常に危険です。
- ・タンクを加圧する場合は蓋を本体にセットし必ず蓋ロックハンドルによるロックがされていることを確認してください。
緩んでいた場合、隙間からエアや液材が飛散し危険です。
- ・ボールバルブの操作は徐々に行なってください。
一気に解放すると液材中に泡を内包したり、必要以上の衝撃が加わったりします。

衛生

- ・タンクへの加圧空気はエアドライヤや除菌フィルターを通したオイルフリーの
圧縮空気を使用してください。
汚染された空気が通ると、健康障害を招く可能性があります。
- ・購入後初めてご使用の場合は、液体通路内部の微細な付着物を取り除くため、無害で
液体に適合する洗浄液を用いて内部の洗浄を行なってください。
付着物が残っていると、液体が汚染され経口により健康障害の可能性があります。
- ・ステンレス材部分でも異物の付着状況により、もらい錆が発生する場合があります。
もらい錆部分を清浄なウエスや鉄分を含まないブラシ等でブラッシングする事を推奨します。
- ・定期的に除菌作業を行なってください。

手順 1

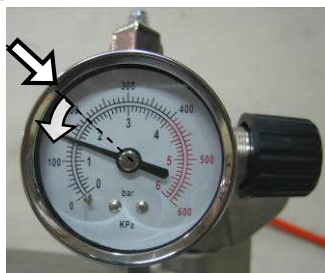
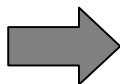
ボールバルブを閉めます。エア供給源より減圧弁に空気を供給します。減圧弁のハンドルを所要の圧力となるまで、徐々に締めます。ハンドル左回転で圧力下降、右回転で出口圧力上昇となります。

※減圧弁ハンドルによる圧力設定は必ず上昇方向で行い、圧力設定後はハンドルを押し込んでロックしてください。

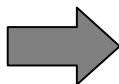
下降方向で圧力設定を行うと、当初の設定圧力より低下することがあります。

例) 0.3MPa → 0.2MPaに変更する場合

下降方向の目標値



一度目標値以下に下げて、



目標値に向けて上げます。

(写真は現物と異なります。)

手順 2 ボールバルブをゆっくり開き、塗布作業を行います。

ワンポイント

- ①現状の圧力設定より少ない圧力へ設定する場合で、上記方法を実施し(上昇方向で最終設定)、正常かを確認する方法は、排気弁のプルリングをタンクが持ち上がらない程度に引っ張り、タンク内圧を少し抜き、閉めた後に加圧エアが充填しきった圧力を見る事で確認できます。
- ②液材加圧圧力と吹付空気圧力の関係は、作業能率と仕上げ肌に大きな影響を与えます。
一般的に、液材加圧圧力を0.05MPa程度にして試し吹きを行い、食液加圧圧力の増減、吹付空気圧力やスプレーガンのニードル開度を変化させて最適条件を求めるようにします。

6-3. 運転終了時

手順 1

エア供給を停止し、減圧弁のカプラのリングを上方に引き、減圧弁を外してください。

作業を中断する際や、緊急停止時、液材を注ぎ足す際は必ずタンクへのエア供給源を遮断してから排気弁を開き、タンク内部の圧力を確実にゼロにしてください。

手順 2

タンク内の接液部や、食液経路内部の洗浄をします。

食液ホースや接液部を、人体に無害でご使用の液体に適合する洗浄液で置換しながら洗浄してください。

または御社独自の規定に則り清浄な状態で終了してください。

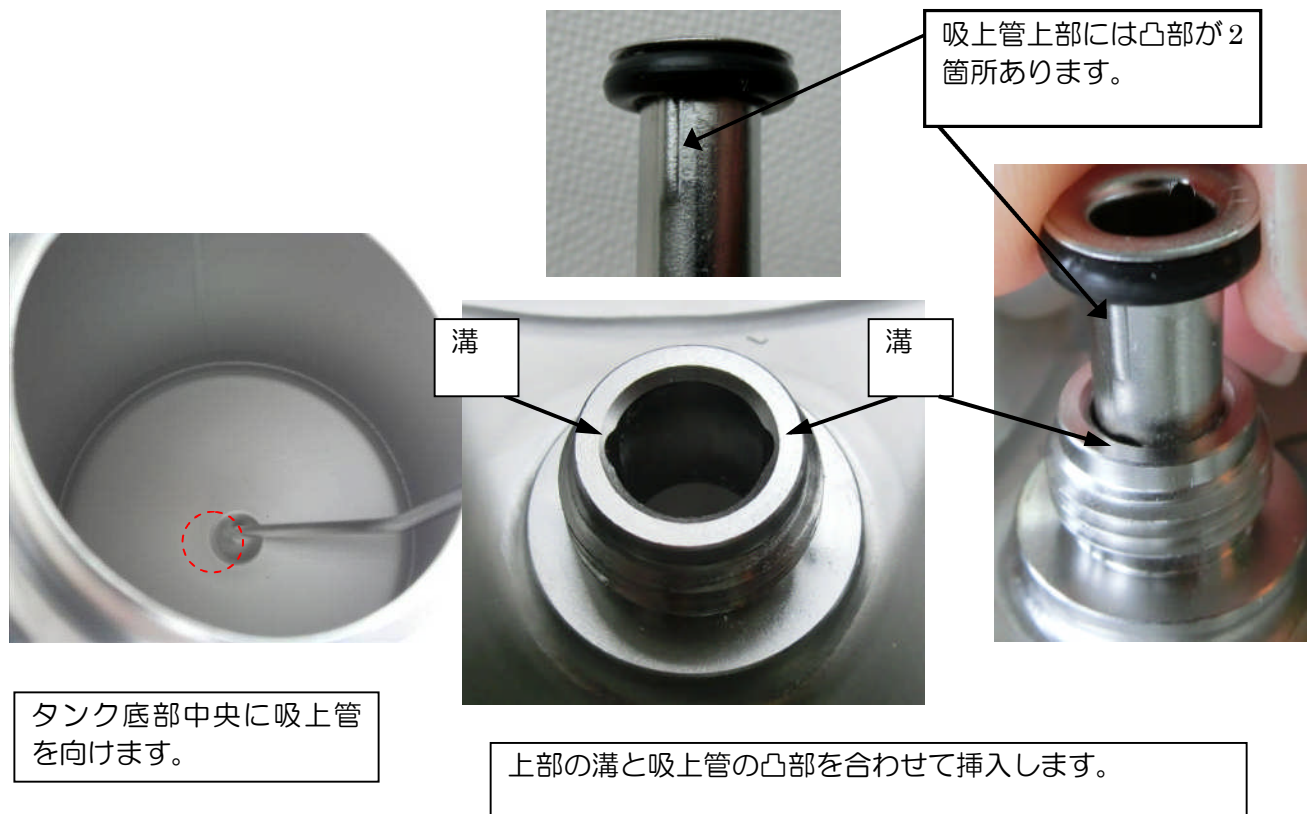
6-4. 組立て・メンテナンス上の注意

1) 六角異径ソケットの締め込み過ぎにご注意ください。破損する可能性があります。

2) 吸上管について

吸上管はタンク最下部の液体まで使用できるように、先端がタンク底の中央凹部へ向け固定するための位置決め用溝が設けられています。

吸上管を組込むときは、先端はタンク底の中央方向へ向けて、吸上管上部の溝部分を合わせて取外・組込をおこなってください。



■7.保守点検

⚠ 警告

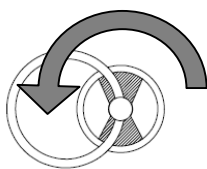


- ・分解する時は必ず、減圧弁のハンドルを低側に回しエアースourceを遮断してから排気弁を開いて圧力を完全に逃がしてください。
圧力による液材、部品の飛散により重大な身体上の危険の可能性があります。

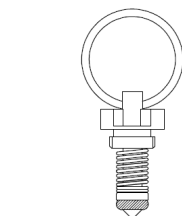
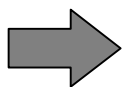
・次表を参照して、点検と整備を行なってください。

No.	時 期	点検、整備内容
1	毎日の点検	① 排気弁の液付着の確認 ・ 液付着がある場合は洗浄除菌します。 ・ 排気弁の作動不良の場合は修理が必要です。 購入先の販売店、または最寄の当社支店・営業所・サービス会社にご相談ください。 ② タンクは使用後、完全に洗浄除菌してください。 特に液材の通る吸上管、ボールバルブ、液材ホースはご使用の液材に合致した洗浄液除菌液を通して洗浄してください。 ③ 圧力計の針の作動、ガラスの破損を確認し異常がある時は交換する。 ・ 圧力を加えない時、針は0（ゼロ）位置に戻る。 ・ 圧力を徐々に加えたとき、針が徐々に上がる。 ・ ガラスが割れていない。
2	定期点検（1回／週）	内外面全体を目視点検 ・ タンクの変形、亀裂 ・ タンク蓋の変形 ・ 蓋パッキン部からのエアリーク

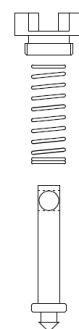
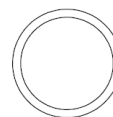
排気弁 ASSY の分解方法は下図のとおりです。弁パッキンはキズをつけないようにお願いします。
組立ては分解の逆に行ないます。



① 通常位置で排気弁 ASSY を左に回し緩めます。



② 蓋から取り出します。



② プルリング（ダブルリング式）を取り外すと、弁座・弁軸・スプリングが外れます。
弁パッキンは先端段差からキズ付けないように取り外します。
固定に接着剤等は使用していません。

■ 8. 故障と対策

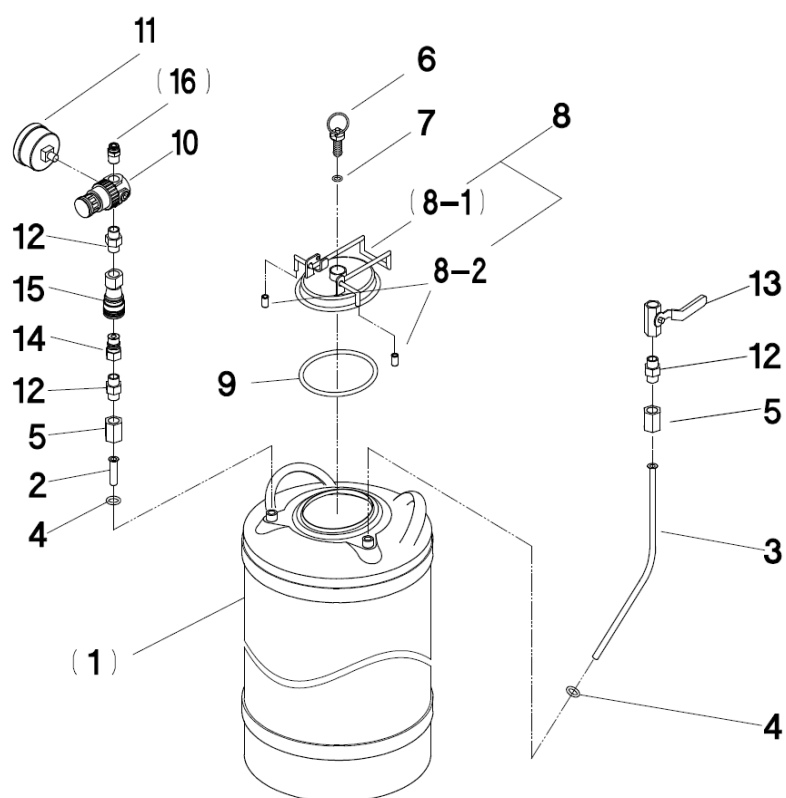
重 要

☆印の処置は、購入先の販売店、または最寄りの当社支店・営業所・サービス会社にご依頼ください。
正しい処置が行われない場合、十分な性能が発揮できなくなります。

現 象	原 因	対 策
①タンク内の 圧力があがらない	① 減圧弁ハンドルが低側	① 減圧弁ハンドルを高側に回す
	② 蓋の変形、Ｏリングの破損	② 新品へ交換
	③ 圧力計の破損	③ 新品に交換
	④ エアースourceの不良不備	④ エアースourceの確認・調整
②液材が出ない	① 加圧圧空気が送られていない ボールバルブの開き忘れ	① 減圧弁ハンドルを高側に回す ② ボールバルブを開く
	② 液体がない	③ 液体を補給する
	③ 配管の詰まり	④ 配管を洗浄する
③蓋からエアーが洩れる	① Ｏリングの損傷、緩み	① Ｏリングの交換
⑤減圧弁のハンドルを 緩めても、圧力が 下がらない	① 減圧弁のシート部の損傷	① 新品に交換する
	② シール部にゴミが付着	② 分解整備をする ☆

■ 9. 構成部品

9-1. 食液用加圧タンク <FOT-100/200>



No.	品 名	個 数
(1)	タンク本体	1
2	加圧エアパイプ	1
3	吸上管(FOT-100 用)	1
3-2	吸上管(FOT-200 用)	1
☆ 4	O リング (NBR)	2
☆ 4-2	O リング (バイトン)	2
5	六角異径ソケット	2
6	排気弁 ASSY (弁座・弁軸・スプリング・プルリ ング含みます。)(弁パッキン含 みません)	1
☆ 7	弁パッキン (NBR)	1
☆ 7-2	弁パッキン (バイトン)	1
8	蓋 ASSY (排気弁 ASSY や No.9 の O リン グは含まれません)(樹脂キャッ プは含みます。)	1
8-2	樹脂キャップ	2

No.	品 名	個 数
☆ 9	O リング (NBR)	1
☆ 9-2	O リング (バイトン)	1
10	減圧弁	1
11	圧力計	1
12	六角ニップル	3
13	ボールバルブ	1
14	カブラ(プラグ)	1
15	カブラ(ソケット)	1
(16)	メスユニオン	1
(8-1)	蓋	1

- ☆印の部品は消耗品です。No.4・7・9のパッキン類の標準材質はNBRです。オプションでバイトンへの材質変更部品の用意があります。ご注文の際は、部品No.・品名・材質を明示ください。

バイトン: 米国デュポン社または関連会社の商標あるいは登録商標です。

- No.6 排気弁ASSYにはNo.7 弁パッキンは含まれません。ご注意ください。
- No.8 蓋ASSYは、ロックハンドル・樹脂キャップが組込まれてます。No.6排気弁ASSYやNo.9のOリングは含まれません。
- No.項目で () 表記は単体部品支給できません。 単体購入できるものは、1個からご注文頂けます。

■ 10. 保証と修理サービス

10-1. 保証について

お買上げの商品を本取扱説明書にしたがって、正常のご使用状態で万一故障が起きました時は、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

形式	FOTー	品名	食液用加圧タンク
お客様	御社名		
	お名前		
	ご住所 〒□□□-□□□□		
TEL() -		FAX() -	
保証期間	お買上げ日 平成 年 月 日 から 「1年間」 を保証期間とします。		
販売店	販売店名		
	住所 〒□□□-□□□□		
	TEL() -		FAX() -

◇ 無償保証を受けるための条件および手続き

- (1) 本保証書をご提示の上、購入先の販売店または最寄の当社支店・営業所・サービス会社にご依頼ください。
- (2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan
※本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんので、ご了承ください。

◇ 次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。

- (1) 本保証書のご提示がない場合。
- (2) 本保証書にお名前、お買上げ日、販売店名の記載がない場合あるいは字句等を書換えられている場合。
- (3) 取扱上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷。
- (4) 消耗品の交換・修理。
- (5) 指定外の動力源(電圧、周波数、燃料他)または天災、地変(火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など)による故障および損傷。
- (6) 純正部品以外の部品が使用されている場合。
- (7) 当社指定の修理店以外による修理がなされている場合。

◇ 法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束できるものです。

従って、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等、またご不明の点はお買上げの販売店または当社支店・営業所までお問い合わせください。

◇ 保証書の保管

- ・「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買上げ日」、「販売店」など、必要事項については、誠に恐縮ですがお客様でご記入して頂き、納品書とともに大切に保管してください。
- ・本保証書は紛失されても再発行致しませんので、大切に保管してください。

10-2. 修理とサービスについて

修理を依頼されるときには

- ・修理にはお買上げの販売店または当社支店・営業所、サービス会社にご相談ください。この時お買上げの商品の形式名及び、お買上げの時期をお知らせください。
- ・保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
- ・詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。また、その他ご不明な点はお近くの当社支店・営業所、サービス会社へお気軽にお問い合わせください。(支店・営業所・サービス会社のお問合せ先は当社ホームページでご確認ください。)

◆製品に関するお問い合わせ、技術的なご相談、ご意見・ご希望などございましたら、下記お客様相談室まで御連絡ください。

アネスト岩田株式会社
お客様相談室



0120-917-144
FAX 045-591-1127

※携帯電話・PHSからもご利用頂けます。

(受付時間 月～金 9:00～17:45

土日曜、祝祭日、夏季休暇、年末年始を除く)

ホームページ <http://www.anest-iwata.co.jp>



アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

取説 No.T549-00

コート No.